

# 柏市民活動ニュースレター

2024年12月発行 第35号

イベント  
の秋特集

市民活動団体主体の秋のイベントが  
各地で開催されました！

## 柏市民活動フェスタ in 柏の葉 (11/3)

- ◇ 柏市民活動フェスタは、毎年5月にJR柏駅東口周辺で開催されていますが、今年度は柏市制70周年の特別企画として、11月3日（日）に柏の葉地域でも開催されました。
- ◇ 柏駅周辺以外で初めて開催する市民活動フェスタでしたが、当日は晴天に恵まれ、柏の葉マルシェコロールと同時開催した相乗効果もあって、大勢の来街者で賑わいました。
- ◇ 柏市には多様な地域があり、それぞれの地域でさまざまな市民活動団体が活躍しています。柏の葉地域で開催した今回の柏市民活動フェスタは、地域の垣根を越えて広く交流するイベントとして有意義なものになりました。

70 Anniversary  
柏市制施行70周年



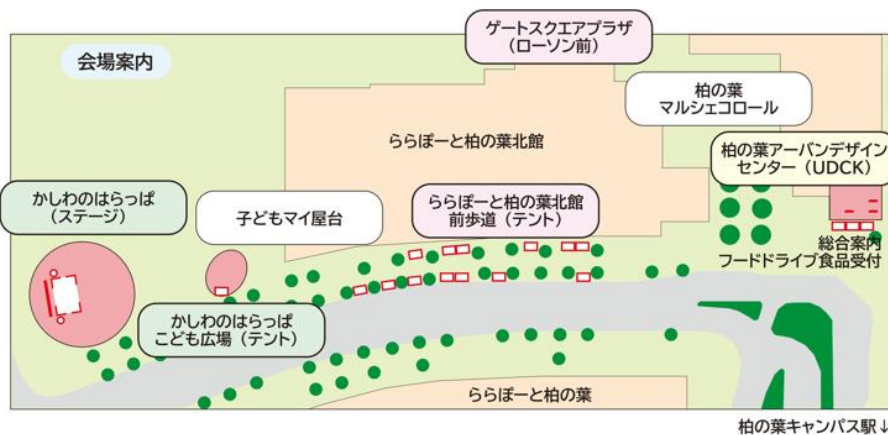
### <目次>

イベントの秋特集（柏市民活動フェスタ in 柏の葉	
/柏市民活動フリーマーケットぽかぽか市 / 踊り de つなぐ柏の輪	・・・ 1～3
協働のまちづくりセミナー in 東葛飾地域「持続可能な「まちづくり」を考えよう」	
/協働まちづくりサロン「第六次総合計画のパブリックコメントを書こう！」	・・・ 4
市民活動講座「助成金獲得のための基本」/「AI×ICTで団体運営を革新！」	・・・ 5
たまご補助金団体の活動紹介	・・・ 6
愛らぶ基金団体の活動紹介	・・・ 7
サポートコーナーからのお知らせ	・・・ 8

## 柏市民活動フェスタ in 柏の葉 各会場の様子



UDCK 会場では、9 団体がワークショップやフォーラムを開催しました。



ららぽーと柏の葉北館前歩道会場では、19 団体がテントブースで活動紹介をしました。



かしわのはらっぱ会場では、8 団体がパフォーマンスを披露しました。





## 柏市民活動フリーマーケットぽかぽか市（11/23）

- ◇ 毎年恒例の柏市民活動フリーマーケットぽかぽか市が、今年も勤労感謝の日（11月23日）に、柏駅前通りハウディモール歩行者天国で開催されました。
- ◇ 今年も25団体とカシワニくんが参加して、ぽかぽか陽気の下、“ひねもすのたりのたりかな～”の一日が暮れていきました。



## 踊り de つなぐ柏の輪（10/20）

- ◇ 踊りの得意な市民活動団体で構成する実行委員会が、「踊りで柏を盛り上げよう！」と、10月20日（日）に、来場者参加型イベント「踊り de つなぐ柏の輪」を開催しました。
- ◇ 会場のファミリかしわ前広場では、「よさこいの部」「ダンスの部」「盆踊りの部」に8団体が参加し、来場者の皆さんを巻き込んで、「踊り」で交流の輪をつなぎました。





**県主催  
まちづくり  
セミナー**

**協働のまちづくりセミナー in 東葛飾地域 (9/7)  
「持続可能な「まちづくり」を考えよう」**

千葉県主催の「協働のまちづくりセミナー」をパレット柏で開催しました。「持続可能なまちづくり」をテーマに、地域課題の解決や魅力ある地域づくりのために地域の多様な主体が協働して取り組むことが必要であることを前提として、協働の中心となる市民活動団体が持続的に活動していくための課題について考えました。

セミナーでは、NPO 法人 CR ファクトリーのコミュニティマネジメント認定インストラクターである阿部剛氏が、「担い手不足」「新たな人との関わり」をキーワードに、地域活動の課題と持続可能な活動のための新たな仲間の巻き込み方など事例を紹介しながら講演し、また柏市でコミュニティ活性化の取り組みを多数実践してきた NPO 法人 urban design partners balloon の理事長である鈴木亮平氏が自身の活動を紹介しました。

参加者は、多様な地域課題に多様な連携体制を構築して取り組む柔軟性と、それをまとめていくコーディネーションが肝であることを講演と事例発表で学ぶことができたとします。

**協働のまちづくりセミナー in 東葛飾地域**

**持続可能な「まちづくり」を考えよう**

地域の重なりごとの解決や魅力ある地域づくりに向けには、多様な主体（行政、地域団体、市民活動団体、企業、学校等）が、「連携・協働」して、事業を実施していく仕組みが効果的です。

本セミナーでは、「担い手不足」、「人の巻き込み方」といった、地域で活動している団体の皆さんが抱えている悩みについて、協働の基礎と連携事例から解決するヒントを学びます！

**講師紹介**

特定非営利活動法人CRファクトリー  
コミュニティマネジメント認定インストラクター **阿部 剛 氏**  
特定非営利活動法人urban design partners balloon  
理事長 **鈴木 亮平 氏**

**発表者紹介**

日時 令和6年9月7日（土）午後1時30分～午後3時30分  
会場 パレット柏 オープンスペース ■所在地詳細はこちら  
（柏市柏一丁目7番1-301号 Day Oneタワー3階）  
対象 NPO、協働に関心を持つ市民、行政職員 等  
定員 会場50名 / オンライン（Zoom）30名程度 ※先着順  
内容 講演、事例発表、交流会（交流会は会場参加者のみ）  
申込方法 紙電子申請サービスよりお申込みください。  
申込期限 令和6年8月30日（金）23:59まで

**協働まち  
づくり  
サロン**

**第3回協働まちづくりサロン (9/11)  
第六次総合計画のパブリックコメントを書こう！**

柏市が第六次総合計画を策定するのに合わせて、協働まちづくりサロン「第六次総合計画のパブリックコメントを書こう！」を開催しました。

総合計画とは、市が策定する最上位計画で、市の各部署は総合計画に基づき各部門計画を策定し実施していく行政施策の根幹となる計画です。

パブリックコメントとは、自治体においては基本的な政策や条例の策定に際して、広く市民の意見を公募・公表し、公平性の確保と透明性を高めることを目的として行う手続きです。

本サロンでは、パブリックコメントを市民の市政参加の手段の一つとして、総合計画の策定プロセスや、計画策定の主旨、市がパブリックコメントに期待していることなどを知り、その上でパブリックコメントをどのように書けばいいのか考えました。

そもそもパブリックコメントを知らない、パブリックコメントなど意味がないと考えている市民が少なくない、どう書いたらいいのかかわからず参加しなかったなど、課題は多いですが、自分が住む街をよりよくしていくためにとにかく行動してみることが市民活動のはじめの一歩と考えています。そのきっかけになることを期待しています。

**協働まちづくりサロン**

**9/11 水**  
18:30～20:30

**第六次総合計画の  
パブリックコメント  
を書こう**

**参加者募集**

**あなたも市政に参加するチャンス**

市民の市政参加の手段の一つ、パブリックコメントに掲載してみませんか？  
策定に向けて準備が進んでいる柏市第六次総合計画を知り、今後の市政の動きに注目したり、意見を述べたい機会となります。みんなの思いを実現できるまち・かしわについて考えましょう。

01 パブリックコメントってなに？  
02 柏市第六次総合計画について  
03 パブリックコメントの効果的な書き方とは

【開催日時】9月11日（水）18:30～20:30  
【開催場所】パレット柏 ミーティングルームFG  
柏市柏1-7-1 Day Oneタワー3階  
【対象】市内在住、在勤、在学の方 先着30人  
【申込】市民活動サポートコーナーへメール、電話、窓口へ直接  
Mail sksc@city.kashiwa.chiba.jp  
Tel 04-7173-1143

主催：市民活動サポートコーナー

## 市民活動 講座

# 第2回柏市民活動講座（9/28） 助成金獲得のための基本

助成金申請時の要件としても増えつつある「申請前の個別相談」の活用を当て、(公財)ちばのWA地域づくり基金の事務局・助成事業担当である大村みよ子氏を講師に迎え、市民活動講座「助成金獲得のための基本」を開催しました。夜の時間帯の開催にもかかわらず10名の方にご参加頂きました。

個別相談時に持ち込むことが多い申請書類についても、「事前に募集要項を熟読し、助成団体(=出し手)側の助成プログラムに対する思いを読み取ったうえで申請することが大事」と、申請の手引き等に記載されている文章の意図や読み解き方を教えて頂いた他、普段なかなか聞けない助成金申請時の疑問や、申請書類作成時に意識すべき視点など細かな点から学ぶ機会となりました。

### ■参加者からの感想

- 「事前相談」という仕組みを初めて知った。
- 話を聞いて、助成金のイメージが変わった。申請が自団体を見つめ直す機会になるという点が今後の参考になった。
- 体系的に助成金についての学びを深められた。

### ■ポイント

- 出し手には必ず明確な「趣旨」や「意図」があり、団体の応募したい趣旨と一致するかが重要。(募集要項に書いてある)
- 事業計画は簡潔かつロジカルに5W1Hを意識して記載しよう。
- 申請の際には団体内できちんと合意を取って申請すること(※会計担当者が単独で申請してしまい、後々トラブルになることがある…)
- 文字数は指定にきちんと沿っているかの確認が大切。多すぎ・少なすぎもNG。

「これはどうかな？」と感じたことは  
ぜひ事前相談の活用を！



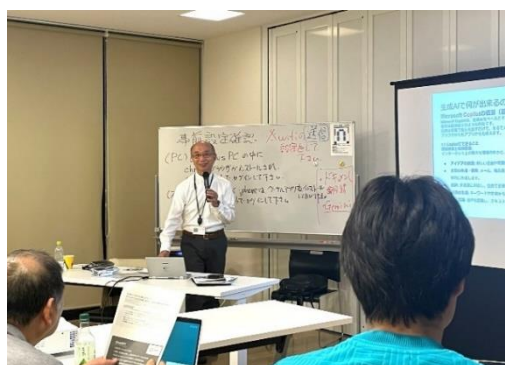
## 市民活動 講座

# 第3回柏市民活動講座（11/17） AI×ICTで団体運営を革新！

11月17日(日)午後3時30分からパレット柏で、ICT能力開発協会理事・名誉講師の青山司氏をお迎えして、Google Gemini(グーグルジェミニ)を活用して、データのクラウド化や情報共有の方法など、効率的な団体運営をサポートするための実践的なノウハウを学びました。

毎年行っている講座ですが、例年より一歩進めた内容だったこともあり、参加者は少なめでした。しかし、「Googleドキュメントの音声入力、スマホのカメラを使った検索、生成AIを体験することができた」、「クラウドでスマホとPCが連動して使えるのを実感できてよかった」、「実務に利用出来るようにしたい」などの感想が寄せられ、じっくり学べたことでより満足度の高い講座となりました。

この学びを活かして、各団体の中で楽しみながらICT活用を進め、効率的な団体運営や活性化につなげていただきたいと思います。





たまご  
補助金

柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）団体の  
活動紹介（柏の葉eスポーツ研究会、風早南部かるたプロジェクトチーム）

柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）を活用して、令和6年度には、設立間もない5つの市民公益活動団体が活動をしています。ニュースレターでは、順次、たまご補助金団体の活動状況をお伝えしますので、新しい仲間たちの活動に注目してください。

■団体名

柏の葉eスポーツ研究会



■団体紹介

世界的に盛り上がりつつあるeスポーツを軸として、個性と才能を気軽に発揮できるよう、先進的な文化を創造することを目的として活動しています。たまご補助金事業としては、高齢者を対象にテレビゲームを体験してもらい、社会活動の継続による健康増進を図る事業を展開しています。

■活動訪問記（サポートコーナー 三好）

12月1日（日）に、パレット柏で行われていた「太鼓の達人体験会&シニア向けお家での遊び方教室」に伺いました。当日は親子連れや高齢者など18人が参加し、音楽に合わせて太鼓をたたいたり、画面を見ながら会話楽しんだりして過ごしていました。



eスポーツは、子どもも、大人も、シニアも、障がいのあるかたも、ないかたもみんなが取り組める活動として注目されています。当日も、テレビの報道でeスポーツを知り、地元で行われるイベントを探して来たとおっしゃる高齢のかたがいました。画面を見ながらスタッフと会話をし、すがすがしい表情でお帰りになる様子がとても印象的でした。

また、市外から視察に来る方も多く、障がい者施設や、居場所づくり活動でのツールとしてeスポーツが注目されていることを再認識しました。



今後も多くの世代が交流し、人のつながりを創出するツールとして広まっていくとよいと感じました。



その先駆的な活動に取り組む、柏の葉eスポーツ研究会の今後の活躍が楽しみです。

■団体名

風早南部かるたプロジェクトチーム



■団体紹介

当団体は、地域の歴史・文化・自然等を題材にした「地域かるた」の制作やかるた取りイベントを通じて、住民に地域をより深く知ってもらい、後世に受け継いでいく活動を行っています。

令和6年度には、たまご補助金を活用して、以下の事業を行っています。

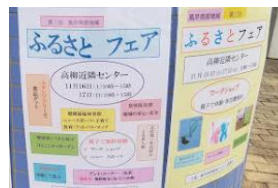
- ① イベント・施設でかるた取り退会の開催
- ② 大判かるた（A4サイズ）の展示と講演会
- ③ かるた題材地の絵地図・説明資料・クリアファイルの制作

■活動訪問記（サポートコーナー 及川）

11月16日（土）、17日（日）の2日にわたって、高柳近隣センターにおいて、風早南部地域ふるさとフェアが開催され、2階の和室では、かるた取り大会が行われました。

取材させて頂いた16日には、朝から入れ替わりで親子連れなど39家族、61人がかるた取りに挑戦し、取れた喜び・取られた悔しさに一喜一憂していました。

かるた取りを通じて地域住民の交流が図られ、地域文化の継承が図られることを期待しています。



## 柏・愛らぶ基金団体の活動紹介

柏市民公益活動促進基金（柏・愛らぶ基金）は、市民の皆様からの寄附金を活用して市民公益活動を支援する制度であり、現在、保健福祉や環境など様々な分野で活動している 27 団体が基金団体として登録しています。ニュースレターでは、順次愛らぶ基金団体を紹介しますので、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。（基金の詳細）



（基金の詳細）

### 介護・認知症の家族と歩む会

～「介護する人の笑顔 される人も笑顔に」～  
高齢者や認知症の当事者・介護家族同士、地域の人々との交流を通じて、お互いの理解を深めること、励まし助け合うこと、社会への働きかけなどを行うことで、高齢者が安心して暮らし続けられる地域社会を目指して活動しています。また柏市をはじめ東葛地区にて、ワークショップ・講座・交流会・相談会などを開催し、様々な情報を提供しています。基金は活動全般に活用しています。



（団体の詳細）

### S L F ガーデンサポート

植木剪定などの植栽管理を通じて社会に貢献することを目標に活動しています。管理の行き届かなくなった家庭の庭木の剪定活動や高齢者の生きがづくり（趣味を活かした仕事、相互交流の場の提供）を行い、“植木と人と街をつなぐこと”に努めています。



（団体の詳細）

#### 【活動の内容】

1. 街の植木屋さん
2. 庭木の知識普及（植木講座の開催）
3. 生き甲斐就労
4. ボランティア活動
5. IT の活用

（東京大学開発 GBER のモデル団体）



## 令和 6 年度柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）中間報告会（10/17）

10月17日（木）パレット柏にて、令和6年度 柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）中間報告会が行われました。この会は補助金交付団体（下表5団体）が上半期に行った活動と今後の予定などを報告するもので、後半の意見交換会では日頃の活動に関する悩みを共有し、その解決に向けてアイデアを出し合う場となりました。各団体とも設立間もない“たまご”団体、この補助金を“助走金”として上手く活用して成長して欲しいものです。

#### 【令和6年度 交付団体】

- \* 柏の葉 e スポーツ研究会
- \* 虹色未来大学
- \* Chloris Music
- \* 風早南部かるたプロジェクトチーム
- \* チャーりんぐ柏



団体の活動内容（補助対象事業）について



お知らせ

## サポートコーナーからのお知らせ

### 柏市民活動フェスタ 2025 (5/18) 参加団体募集中!

来年度の柏市民活動フェスタ 2025 は 5 月 18 日 (日) の開催を予定しており、現在参加団体を募集しています。**参加申込みの締切は 1 月 31 日 (金)** です。

日時 2025 年 5 月 18 日 (日) 10 時~15 時

会場 柏駅東口ダブルデッキ、ファミリかしわ前広場  
柏駅前通り商店街ハウディモール、パレット柏

対象 市民公益活動団体

※ 詳細は、募集要項をご覧ください。(ニュースレター第 35 号に同封)

### 市民活動講座・協働まちづくりサロンのご案内 (1 月~3 月)

≪市民活動講座≫

第 4 回 (仮) 市民活動の会計・税務 3 月 22 日 (土) 13:30~16:30

第 5 回 (仮) 市民活動の広報 3 月 29 日 (土) 15:30~17:30

≪協働まちづくりサロン≫

第 5 回 (仮) NPO と町会・自治会との連携を考える 2 月 22 日 (土) 13:30~16:00

### まち match づくりステーションのご案内 (1 月~3 月)

2 月 1 日 (土) ~15 日 (土)	はぐはぐフォーラム
2 月 16 日 (日) ~28 日 (金)	手賀沼ゴミ×アート展
3 月 16 日 (日) ~31 日 (月)	柏市俳句連盟

※1 月と 3 月前半は未定です。

ご利用を希望される団体はパレット柏総合受付までお申込みください。☎04-7157-0280

~編集後記~

秋には、市内各地で市民活動団体主体のイベントが開催され、その取材等で各地を駆け回り、ニュースレターの誌面 3 ページを飾りました。

さて、令和になって 6 度目のお正月を迎えます。市民活動団体の皆さんは、来年の活動に想いを馳せているのではないのでしょうか？

市民活動サポートコーナーでは、来年も市民活動団体の皆さんの「学び」や「交流」をサポートする様々な活動を行って参りますので、一緒に柏を盛り上げていきましょう。

(編集：及川愛二)



柏市民活動ニュースレター 第35号 2024年12月発行

発行者 柏市市民活動支援課 市民活動サポートコーナー

電話 04-7163-1143 FAX 04-7163-1147

メール shiminkatsudo-c@city.kashiwa.chiba.jp

